

## 普及現地情報



発信年月日：令和7年(2025年)12月25日  
所属名：大津・南部農産普及課  
番号：A25011  
発信者名：籠、今井

### バラ栽培の環境にやさしい総合的病害虫防除技術の導入支援

当課では管内のバラ生産者に対して、紫外線照射を主とした病害虫防除の新たな技術普及に向けて、実証ほを設置しています。

管内では、バラの施設栽培において、うどんこ病やハダニ類の発生が安定生産の妨げとなっています。令和6年に紫外線照射(以下、UV-B という)によるうどんこ病防除技術の効果について調査研究で取り組み、防除時間や経費の低減を明らかにしたところ、今年度から新たに2経営体がUV-Bを試験導入されました。そこで、2経営体に対するUV-Bによるうどんこ病防除技術の導入を支援しました。さらに、同時防除が期待できるハダニ類への効果を検証するため、UV-Bと反射マルチシートまたは天敵製剤の組み合わせによる、実証ほも設置しました。

2経営体は、うどんこ病については発生抑制の効果と薬剤散布回数の軽減を実感され、「温室全面に導入したい」との声が聞かれました。現在調査中のハダニ類についても、「例年と比較して実証区ではハダニ類の発生が減っている」と評価されています。

当課では、引き続き、管内のバラをはじめとした施設花き経営体に対して、安定生産につながる技術の提案と導入支援を続けていきます。



実証ほの設置支援



従業員による天敵製剤散布